

# 平成29年度 学校関係者評価書

様式 5

		評価項目	評価委員会からのコメント
学校全体の様子	1	教育目標・方針	児童の50数名は理解できるよう説明の必要がある。「あまりあてはまらない」児童が多い。分かりやすく説明する努力を。目標・方針を説明しているにもかかわらず、%が低いのは少し残念ですね。啓蒙の方法なのでしょうか。
	2	児童・生徒の様子	子供たちの元気な挨拶は、嬉しく思う。表情も明るい。保護者は「ややあてはまる」が多いので、説明する必要がある。児童たちは66%の評価をしているが、保護者の方々が35%と低いのは、家庭で学校生活を伝える時間が少ないからではないのでしょうか。親と子のコミュニケーション不足なのではないでしょうか。
	3	基本的な生活習慣	1学期よりゴミ当番の時のあいさつが良くなってきている様な気がする。当項目は家庭での教育だと思う。保護者は自分たちの評価の結果と認識してもらいたい。児童・保護者教員に「ややあてはまる」が多い。まだ指導の余地がある。基本的な生活習慣は家庭生活の中での関わり方で身に付いてくると思います。学校と家庭が互いに協力し合っていることの評価の表れだと思います。
	4	児童・生徒理解	教職員の評価と児童の評価には差がある。18%の児童のより一層の指導が必要と思われる。教職員が思っているほど、児童・保護者は感じていないみたい。良さや努力している姿を認めてもらっていると児童たちが感じているのは、先生方がコミュニケーションを多くとってくださっているからだと思います。
	5	健康・安全・安心	引き取り訓練や避難訓練の成果が認められていると思われる。月一回の避難訓練は良い体験になると思います。保護者の方々も、防災教育が充実していると感じているようですね。
学力向上の取組	6	分かる授業	授業を拝見したことがないので何とも言えない。児童の評価が高い傾向は素晴らしいと思う。「あまりあてはまらない」児童・保護者が少なくない。授業の工夫を。授業が分かるから楽しく勉強できていると、児童たちが感じていることは、とても素晴らしいことだと思います。
	7	個に応じた指導	児童の評価が高い傾向は素晴らしいと思う。児童の大半は肯定であるが「あまりあてはまらない」児童もいるので、課題がありそう。習熟度別学習が、一人一人の児童の学習意欲を高めてくれたのだと思います。
	8	学習習慣	児童の評価が高い傾向は素晴らしいと思う。児童は肯定が多いが、否定的な児童も一部いるので、課題もあり。放課後授業でより理解できる環境を与えてもらえていることが、児童にとって学習する意欲へとつながっていると感じているようです。
	9	情報教育	一度タブレットPCなどの授業を拝見できず残念。教職員の「あまりあてはまらない」16, 1%が気になります。今どきの児童は、タブレットPCに慣れるのは、早いのでは？良く分からない保護者も何人もいますね。電子黒板やタブレットPCが、児童たちの学習環境の幅を広げていると思われます。
	10	学校図書館の活用	児童、保護者、教職員共に高い評価となっていて素晴らしい。児童は学校の図書館を活用されていますね。図書あkンを最大限に活用することで、「知らなかったことを学べる」ことの大切さを認識しているからだだと思います。
社会性・人間性の育成	11	人権教育	児童の評価は高いが一部の児童と保護者の数値が気になる。児童・保護者の否定群があり、「良く分からない」の保護者も多いですね。約90%児童が「豊かな心を育んでいる」と感じていると認識していると思われます。
	12	道徳教育	児童の評価は高いが一部の児童と保護者の数値が気になる。やや肯定群だが、道徳の教育も、これから力を入れてください。徳育教育は、家庭での基本的な生活の中で育てていかなければいけないのではないのでしょうか。しかし、それができないので、学校で更なる教育を進めてほしいと思います。
	13	教育相談	学校の取り組みが、児童・保護者にあまり理解されていないように思う。否定群の児童が多いですね。いじめや不登校はこの学校も一番難しい課題です。「たった一言が人の心を傷つけ、たった一言が人の心をあたためる」と言いますので、温かい言葉かけができる子供たちになつてほしいと思います。
	14	人間関係づくり	三者共に良い評価が出ている。人間関係が作れていて、仲良く学校生活が送れているのは素晴らしいです。あいさつをとおして人の心と心をつなぎ、そのことで心を開くことができ、良い人間関係が生まれると思います。
	15	自治的な活動	三者共に良い評価が出ている。高学年を中心に自治的な活動をし、下学年に引き継がれ、良いですね。いろいろな活動をおして、引き継がれていると児童たちが感じていることhさ、素晴らしいことだと思います。
保護者・地域との連携	16	情報発信	学校便り拝見すると、校長先生の内容の濃いお話や学校の様子が良く分かる。尾久六小だよりは、いつも拝見して、学校の内容が良く分かります。配布物の関心度には、保護者の温度差もあるのではないのでしょうか。
	17	相談への対応	教職員の評価と児童・保護者の一部の評価が異なり、より一層の対応の必要性を感じる。学校としては、相談を丁寧に対応しても、児童・保護者に少し理解されていないところもある。相談への対応は、受け止め方に差があるのではと思います。寄り添い、傾聴することで安心していただける場合もあると思います。
	18	学校への参加	三者共に良い評価が出ている。児童の中には、否定群の数が少し多いようですね。学校に来てみると「子供の顔が見える」「親の顔が見える」「地域の顔が見える」。より多くの保護者に公開授業や行事に参加してほしいと思います。
	19	地域との連携	町会の行事等で大変お世話になっています。今後も連携を大事にしていけたらと思う。地域の者としては児童が行事に参加してないのは残念です。努力します。地域の行事の参加は、保護者の価値観の違いによるので、難しいところもあると思います。
	20	意見の反映	保護者や児童に分かりやすく伝えていかれたら良いと思う。児童・保護者の方の「良く分からない」が多いですね。いろいろな保護者がいらっしゃいますので、大変だと思います。
各学校の特色ある教育	21	学校行事の取り組み	金管バンド、運動会、オータムコンサート、音楽会、地域の人達も、とても楽しみにしています。三者共に素晴らしい評価が出ている通りだと思う。一生懸命に取り組む子供たちの姿は宝物です。児童の学校行事の取り組みはすごいと思います。いろいろな学校行事を楽しんでいることがうかがわれます。
	22	基礎・基本の定着	児童の約22%があまりあてはまらない。全てあてはまらない、良く分からないと答えている。取り組みができていないのか？「よくあてはまる」がもう少し多いと良いですね。児童の否定が少し多いみたい。分からない事項を少しでも理解し、力を付けていくための寺子屋は、とても素晴らしいことだと思います。
	23	自主的な休み時間の活用	三者共に評価が高く、効果的に活用されている。休み時間を有効利用しているのは良いことですね。「自主的な休み時間」を有効に活用している子供たちの姿が、アンケートに表れています。
	24	異学年交流の推進	三者共に評価が高い。思いやりのある素直で明るい子供たちだと思う。異学年が仲良く協力ができている。低学年が楽しみにしているのは良いですね。児童たちは異年齢交流が楽しく行われていると感じている。
	25	外部人材の活用	道徳教育などでも学校の取り組みの努力を感じる。アツキヨコンサートなど素晴らしいものでした。外部人材の活用の効果が分かってもらえることが大事ですね。外部人材による児童たちへの学びを援助することで、新しい発見もあるのではないのでしょうか。